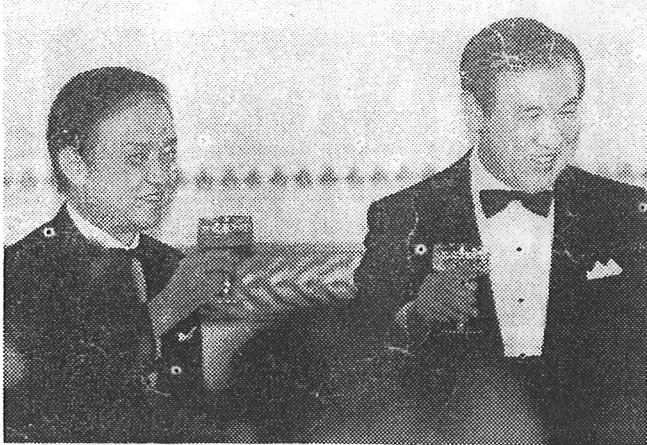




9日、ソウル市の青瓦台で開かれた晩さん会で盧韓国大統領(右)と乾杯する海部首相=ロイター

未来志向の協力関係構築

晩さん会で海部首相が表明

「日韓トンネル」に前向き

【ソウル9日＝竹谷特派員】海部首相は九日夜、青瓦台(大統領官邸)で開かれた盧泰愚韓国大統領主催の晩さん会に出席し、スピーチの中で、「日韓両国は今後、世界的視野に立った未来志向的な新たな協力関係を構築していく」ことを強調するとともに、日本と北朝鮮の国交正常化交渉に際しては、韓国と緊密な連絡をとりながら進めていくことを表明した。また首相は、昨年五月に盧大統領が日本の国会演説で、日韓海底トンネルを通過して出会った日韓両国の青年が友情旅行を楽しむ時代を築こうと語ったことを取り上げ、「私も同じ気持ちだ」と賛意を示した。

首相は、この中で、一月末から「韓半島全体を視野に入れ、開始が予定されている日朝国交正常化のための本交渉について、韓国とも緊密に連絡をとって、その平和、安定に資する形で、」

「く」と言明、韓国と緊密な意思疎通を図り、韓半島の安全保障にマイナス的影響を及ぼさないよう留意することを強調した。また首相は、冷戦の解消がアジアにも波及しつつあるとの認識を示し、「二十一世紀に向け、手を携えて歩むべき具体的な道を見いださなければならない」と述べ、日韓両国の新たな協力

関係の構築が必要であるとの考えを表した。さらに首相は、日韓間の過去の歴史に触れ、「過去を忘れず、その反省を現在に生かしてこそ、繰り返さない未来への視野が開けてくる」と述べ、改めて不幸な過去への反省と謝罪の意を表明した。最後に首相は、盧大統領が日

本の国会演説で「来る世紀には東京を出発した日本の青年が海底トンネルを通過して、ソウルの親友といっしょに世界をひとつにつなぐ友情旅行を楽しむ時代を創造しよう」と語った点に触れ、「私も同じ気持ちだ」の述べ、日韓海底トンネル構想に間接的ながら前向きな姿勢を示した。